

友好の絆を再確認

中国浙江省博物館と姉妹館

国東市は、平成8年度から平成12年度の5カ年で国史跡安国寺集落遺跡保存整備事業を実施しました。その際、高床建物を復元整備している中国浙江省の河姆渡遺跡を参考とするために中国浙江省を視察し、平成13年に弥生のムラ国東市歴史体験学習館と国史跡安国寺集落遺跡公園をオープンしました。オープンの際には、中国浙江省博物館から出土品を借用して、開館記念特別展を開催するなど、その後も姉妹館として企画展やシンポジウム、講演会などの交流が続いています。



今回の訪中の様子

最近の交流

最近の交流では、平成17年と20年に「国東の遣唐使」として中学生が訪中し、平成22年には中国浙江省博物館の皆さんが、国東市歴史体験学習館を訪れ交流を行いました。17回目となる今回の交流事業は、2月7日から11日の5日間の日程で、三河明史市長と山本泰光教育長、市歴史体験学習館職員など5人が中国浙江省博物館、河姆渡遺跡等を訪問しました。

交流記念品の寄贈を受けました

これまでの17回にわたる文化交流で、国東市は浙江省博物館から2品目の寄贈を受けました。第1品目は、河姆渡遺跡出土品「双鳥朝日象牙雕刻件」です。



双鳥朝日象牙雕刻件
縦6.5cm、横16.5cm

今回寄贈された第2品目は、元時代末の黄公望作の水墨画「富春山居図巻一剩山図」です。これは「剩山図」です。これらはいずれも浙江省博物館所蔵の10大館宝の複製品です。なお、今回寄贈された「富春山居図巻」は4月中旬から一般公開する予定です。



富春山居図巻剩山図 縦31.7cm、横51.2cmの水墨画
(全体では長さ9.39mの巻物)

「富春山居図巻」は中国10大名画の1つに数えられる傑作といわれている水墨画で、「元代四大家」の一人である黄公望（1269～1354年）が82歳の時（1350年頃）富春江一带の山河を描いた作品です。この作品は、その後、1650年代の火災により前後2つに分割されました。前半の小さい方は浙江省博物館が「剩山図」として、大きい方は台湾国立故宫博物院が「富春山居図巻一無用師巻一」としてそれぞれ所蔵しています。